各教科と学校図書館教育との関連実践

あわら市金津中学校

活用目的	資料の活用			

本事例のねらい	各教科等における学習、各年齢に応じた子供の発達のため

本事例の概要 （学校図書館等を活用した項目に★印）

教科書に関する書籍については、特に古典では各学年1クラス分の書籍を準備し、一人一人が手元に置きながら授業に臨むことができるようにした。例えば「枕草子」であれば、教科書には載っていないところも生徒が読めるようにしたことで、清少納言の考え方やその時代の生活などの理解が深まり、大いに自分流の「枕草子」作りの参考にすることができた。また、タブレットでの調べ学習だけでは理解しづらいことも、分かりやすく解説してある本を読むことで、理解を深めることに繋げることができた。足りないときは、公共図書館からも借りて利用した。
また、そうした国語や総合の学習で作成した生徒の作品を、本とともに図書館前に「学習の発展コーナー」として設置し、多くの生徒の目に触れるようにした。
「教科のコーナー」は、各教科の授業に役立つような本を、司書だけでなく多くの教員にも選定してもらい配置した。さらに、総合的学習の時間で職業調べをする際に使用できるよう、職業にまつわる本を充実させた。
「特集コーナー」は季節のものに合わせるだけでなく、教科の進度を意識しその内容のものを集めることにより、授業でも使いやすくした。例えば、夏休み明けの国語はどの学年も平和教材から入るので、戦争・平和に関する本をなるべくたくさん集め平和コーナーを作った。授業では単元のまとめとして、そこからの本を選び読書し話し合う時間を作ったことにより、生徒は教科書だけでは得られない知識を得、興味・思考も深まった。
教員の知見を深めるために、職員室の一角に「教員用の書籍コーナー」を設置し、手に取りやすいように工夫している。

昼休みに図書館で過ごす生徒	生徒の作品と関連する本の展示
	

本事例に関わった人（いる場合は○を選択してください）			実践のポイント
○	学校司書		国語の教科書の内容に即した本が豊富にあることで、授業や学習に役立てることができる。特集コーナーも教科の内容を意識して作る。 職員室の書籍コーナーは、教員が自由に本を読むことができ、授業や学校生活に生かすことができる。
○	司書教諭		
○	その他の学校職員		
	ボランティア		
○	公共図書館職員	左の具体的内容を選択してください	
	その他	（その他の具体的内容を入力してください）	

資料	・「枕草子」清少納言　角川書店編　2001年ビギナーズ・クラシック日本の書店 ・「おとなになれなかった弟たちに・・・」米倉斉加年　1983年開成社 ・被爆50周年図説戦後広島市 街と暮らしの50年　1996年広島市企画総務局公文書館